

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/5)

認定番号:DC 0001-1303 , サービス名称:東京第5データセンター , 事業者名称:エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2019年2月20日	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
3		事業者ホームページ	事業者のホームページのURL	選択	http://www.ntt.com/
4		設立年	事業者の設立年(西暦)	必須	1999年
5		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都千代田区内幸町1丁目1番6号(〒100-8019)
5			事業所数(国内、国外) <内>データセンター事業所数		営業拠点: 国内 16拠点、 国外 123拠点 データセンター事業所数: 国内外153拠点(2018年2月現在)
6	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(データセンター事業以外も含む) <100字以内で記述してください>	必須	電気通信事業等
- 人材					
7	経営者	代表者	代表者氏名	必須	庄司 哲也
7		代表者	代表者経歴(年齢、学歴、業務履歴、資格等)	選択	略歴 1977年4月 日本電信電話公社入社 2005年7月 西日本電信電話株式会社 人事部長 2006年6月 同 取締役 人事部長 2009年6月 日本電信電話株式会社 取締役 総務部門長 総務部門内部統制室長兼務 2012年6月 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役副社長 2010年6月 同 代表取締役社長(現職)
8	役員	役員数	役員数	選択	19人
9	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	6,250人(2018年3月末)
- 財務状況					
10	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	699,005百万円(2018年3月期)
11		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	123,582百万円(2018年3月期)
12		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	230,979百万円(2018年3月期)
13		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	61.6%(2018年3月期)
14	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、有りの場合は市場名	選択	無し
15		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	①会計監査人による会計監査
16		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	有り
- 資本関係・取引関係					
17	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	日本電信電話株式会社(100%)
18	取引関係	主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	-
19		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	-
- コンプライアンス					
20	組織体制	専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、有りの場合は社内の部署名・会議名	選択	コンプライアンス委員会
21	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の有無と、有りの場合は文書類の名称	必須 ○	情報セキュリティ基本規程
21			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
22		データセンターサービスの苦情対応に関する規程等の整備	データセンターサービスの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の有無と、有りの場合は文書類の名称	必須	インシデント管理マニュアル
22			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
23	事業継続に関する規程等の整備	事業継続に関する基本方針、計画、マニュアル等の文書類の有無と、有りの場合は文書類の名称	必須	事業継続管理規程	
23		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り	
24	リスク管理に関する規程等の整備	リスク管理に関する基本方針、計画、マニュアル等の文書類の有無と、有りの場合は文書類の名称	必須	コロケーションサービス 緊急対応マニュアル	
24		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り	

(注)必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/5)

認定番号:DC 0001-1303, サービス名称:東京第5データセンター, 事業者名称:エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
-	ハウジング (建物・設備)				
25	建物	データセンター識別名	情報開示するデータセンターの名称もしくは相当する識別名称	必須	東京第5データセンター
26		データセンター事業開始年	当該データセンターの事業開始年	必須	2011年
27		建物専用形態	データセンター専用建物、オフィス建物のいずれに近いかの明示	必須	データセンター専用建物
28		所有・入居形態	事業者の自己所有施設か、賃借施設かの明示	必須	自己所有施設
			事業者の単独利用(ビル一棟借り)、他の入居者との共同利用(ビル一部利用)のいずれかの明示		単独利用
29		建設時期	建物の竣工年・月	必須	2011年3月
30		所在地	所在国名、日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北)	必須	日本・関東地域
			最寄り公共交通機関の拠点から所在地までの交通手段と所要時間	選択	東京駅から車で約10分、複数の駅から徒歩圏内
			特筆すべき立地条件上の優位性があれば記述(例:標高、地盤等)	選択	活断層が近隣に無い 海岸線から5km以上、主要河川から約2kmの離隔がある。
31		建物規模	建物内のサーバ室の延床面積 (㎡)	選択	-
			最大収容可能ラック数	必須	1,500ラック
32		耐震・免震構造	耐震数値(震度等)	必須	震度7
			地震対策に係る建物構造(免震、制震構造等)		免震構造
33		耐火構造	耐火建築物か否かの明示	必須	耐火建築物
34		防水構造	外壁・屋根・開口部の防水措置の有無	必須	有り
35	床荷重	サーバ室スラブ平米(㎡)当たりの耐荷重(最大値)	必須	1000kg/m2	
36	電源設備	無停電電源	無停電電源とするための対策(UPS設置等)の有無と、有りの場合は電力供給可能時間	必須	有り UPS設置 バッテリー給電時間10分以上、商用電源の停電時には、瞬時に非常用自家発電装置が自動起動
37		給電ルート	給電ルート(系統)について、以下より選択する。 ①異なる変電所から給電ルートを2ルート以上確保 ②同一変電所から複数の給電ルートを確保 ③同一変電所・単一給電ルート	必須	②同一変電所から複数の給電ルートを確保
38		受電方式	受電方式 (ループ受電、変電所からのスポット受電等)	必須	特別高圧受電 本線・予備線方式 二系統受電
39		電力設備監視	電力設備の監視を実施しているか否かの明示	必須	実施
40		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、有りの場合には以下の各項目 ・停電時から非常用電源の稼働開始までの時間 ・無給油での連続稼働時間 ・非常用電源稼働対策の内容(燃料の連続供給方法等)	必須	有り ・停電時から非常用電源の稼働開始までの時間:約40秒 ・無給油での連続稼働時間:24時間以上 ・非常用電源稼働対策の内容(燃料の連続供給方法等):優先供給契約業者からの給油により、その後も連続運転可能
41	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、有りの場合はガス系消火設備(ハロンガス対応、新ガス対応の別)か否かの明示	必須	有り 窒素ガス系消火設備
42		火災感知・報知システム	火災検知システム、煙検知システムの有無	必須	有り
43	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	有り
44		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、有りの場合は最大対応電圧の数値(選択)	必須	無し(統合接地方式により回避)
45	空調設備	十分な空調設備	空調設備の内容(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調、水冷・空冷式、その他の工夫等)	必須	ICT装置専用顕熱型空冷式空調機、床吹上空調方式、ホットアイルとコールドアイルを完全分離したエアフローマネジメント
		空調設備の容量 (KVA/㎡、Kcal/㎡等)	選択	平均4 kW/ラック(個別空調による増強可能)	
46	ラック/スペース	ラックレンタル	ラックレンタルの提供単位(フル、ハーフ、その他)	必須	フルラック
47		スペース貸し	スペース貸し・ラック持ち込み等の可否	必須	スペース貸し可能 ラック持ち込み可能
48		荷重	ラックへの搭載可能荷重(標準値、最大値)	必須	標準・最大500kg(標準ラック利用時)
49		電力	ラック単位の提供可能電力(標準値、最大値)	必須	標準値: 2kVA 最大値: 6kVA(標準)~22kVA(特別空調配備時)
50		監視機能	ラックの電力監視機能、温度監視機能の有無と、有りの場合は、それが標準機能かオプション機能かを明示	必須	ラックの電力監視機能有り、ただしお客さまへは異常時のみ通知(標準機能) ルーム温度監視機能有り、ただしお客さまへの通知は無し(標準装備)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/5)

認定番号:DC 0001-1303 , サービス名称:東京第5データセンター , 事業者名称:エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
51	作業スペース	事務作業スペース	利用者用の事務作業スペースが建物内に確保されているか否かの明示	選択 有り(事務室提供可能)	
52	セキュリティ	24時間365日監視体制	有人監視又はそれに代わる体制・システムとなっているか否かの明示	必須 24時間365日有人監視実施	
53		外部委託先	運用外部委託先(派遣、請負等)の有無	必須 有り(請負)	
54		入退館管理等	セキュリティレベルに応じた区画(フロア単位、ラック単位、ラック分割単位等)の分離と、各区画における入退室管理や施錠等のセキュリティ対策の有無	必須	有り 多段階のセキュリティ認証実施
			入退室記録の有無と、有りの場合はその保存期間	必須	有り 保存期間90日
			監視カメラの有無と、有りの場合は監視カメラ稼働時間、映像の保存期間、改ざん防止機能の有無	必須	有り 24時間365日稼働(記録は被写体動作時のみ) 保存期間90日 閉域網利用により改ざん防止実施
			個人認証システムの有無	必須	有り
			認証システムがある場合はその認証方式を記述	選択	生体認証(指静脈認証)
55		媒体の保管	磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットや保管室の有無	選択	無し
	保管管理手順書の有無			-	
56	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策	選択	-	
57	環境対応	電力消費の効率化	電力消費の効率化の目標値、もしくは実績値の有無(測定条件等を明確にしたPUE等)	選択 PUE 1.45以下(設計値)	
58	環境対応	特筆すべき環境対応策	リサイクルの取組み(紙ゴミ等)、自然エネルギー活用、廃熱対策、ラック間・ラック内の熱だまり対策、水使用量への配慮、化学物質・有害物質管理、生物多様性への配慮、輸送への配慮 等	選択 プレキャストコンクリート採用による建物への熱負荷低減 壁面緑化による建物への熱負荷低減とCO2排出削減 太陽光発電パネルによる自然エネルギーの活用 雨水を使った空調機への水散布による空調効率向上	
- ハウジング (ネットワーク)					
59	回線	バックボーンネットワーク	データセンターが接続しているバックボーンネットワークの容量(帯域)	選択 数10Gbps以上	
60		接続回線	建物への引き込み経路が2つ以上あるか否かの明示	必須	3経路有り
			バックボーンネットワークへの占有回線の有無と、有りの場合は、占有回線の帯域		有り 10M~100Gbps
			バックボーンネットワークへの共有回線の有無と、有りの場合は、共有回線の帯域(ベストエフォート型、帯域保証型)		有り 10M~100Gbps(ベストエフォート型、帯域保証型、パースト型等各種メニュー有り)
			提供されるネットワーク回線での複数ISP事業者の選択の可否		可
			ASP・SaaS事業者等が別回線(メンテナンス用のISDN回線等)を自前で引くことの可否と、可の場合でのキャリア制限等の有無		可 制限無し
		ネットワーク機器(ルーター等)の経路増、IPv6への対応等の将来拡張能力		IPv6対応可能	
61	サービス	サービス内容	データセンター事業者側が提供できるネットワークに関するサービス内容(インターネット接続、設定サービス代行、監視、侵入検知等のセキュリティ対策等)	必須 マネージドIPS/IDS マネージドFirewall マネージドUTM Firewallログ管理 IPS/IDSログ管理 UTMログ管理 ゲートウェイセキュリティ エンドポイントセキュリティ インターネット/イントラネット診断・管理 ネットワーク脆弱性診断 Webアプリケーション脆弱性診断 など	
- ハウジング (サービスの内容)					
62	サービスの受付・問合せ	受付・申込・問合せ先	電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須 法人コンタクトセンター 0120-106107(年末年始を除く平日9:30-17:00) Web問い合わせフォーム <a href="http://www.ntt.com/business/call/index.html">http://www.ntt.com/business/call/index.html</a>	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/5)

認定番号:DC 0001-1303 , サービス名称:東京第5データセンター , 事業者名称:エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
63	サービスの変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を●ヶ月前などと記述)	必須	サービスの終了や重要な変更等の事象に応じて数年～数ヶ月前に告知を実施	
		告知方法		書面、口頭、電話、メール、Web等	
64	サービスの変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無	必須	有り	
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無		有り	
		契約終了時の情報資産の返却責任の有無		有り	
65	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、有りの場合は名称・受付時間	必須 ○	有り 各法人営業担当窓口 または、 法人コンタクトセンター 0120-106107(年末年始を除く平日9:30-17:00) Web問い合わせフォーム http://www.ntt.com/business/call/index.html	
66	サービス料金	初期費用額	必須	<参考価格> 契約データセンター毎 60,000円、ラック毎 60,000円	
		料金体系		月額利用額	<参考価格> 1ラック(2kVA付) 150,000円/月
		最低利用契約期間		1年間(標準契約時) ※短期利用をご希望の場合は応相談	
67	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無	必須	有り	
68	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り 解約の1ヶ月前までに書面通知	
69	サービス可用性	年間障害停止時間(ダウンタイム)と、障害停止の事故歴(5年以内) また、5年以内に障害停止があった場合には、その内容と再発防止策(ここでのいう障害停止とは、何らかの障害によりデータセンターの顧客サービスが停止したこと)	必須	0時間、障害停止事故歴無し	
		点検を含む定期メンテナンスの実施内容と間隔	必須	月1度の非常用発電機の試験運転を始め、全設備について定期点検を実施	
70	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	プライバシーマーク(企業単位) ISO27001(データセンター単位) ISO9001(企業単位) ISO20000(データセンター単位) ISO22301(データセンター単位)	
71	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	Colocationサービス利用規約に明示	
72	受賞・表彰歴	データセンターに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	ASP・SaaS・クラウドアワード2011 データセンター部門 総合グランプリ受賞 グリーングリッド「データセンター・アワード2012」最優秀賞を受賞	
73	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	SLA有り	
- ハウジング(サービスサポート)					
74	サービス窓口(苦情受付、問い合わせ)	営業日・時間	必須	24時間365日対応(サービスデスク)	
		営業時間外の対応の可否		24時間365日対応(サービスデスク)	
75	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	故障受付、入館受付	
		連絡先、連絡手段(電話/FAX、電子メール等)	必須 ○	電話、専用Webページによる入館受付対応(ご契約時に電話番号・URLをご連絡)	
76	サービス保証・継続	データセンター事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無と、有りの場合はその文書名称	必須	有り Colocationサービス利用規約	
77	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須 ○	概ね1ヶ月以上前に告知を実施	
		告知方法		書面、口頭、電話、メール、Web等	
		上記記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り	
78	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須 ○	有り お客さまサービスに影響のある場合のみ	
79	定期報告	利用者への定期報告の有無	必須	・専用Webサイト(カスタマーポータル)により運用情報を提供 ・サービスマネージャによる報告も可能(有償オプション)	
80	障害対応	利用者持込み機器類の障害時対応サービスの有無と、有りの場合にはその内容(障害切り分け・復旧、ベンダーへの手配等)	必須	有り 提供内容は応相談	
81	支援サービス	利用者持込み機器類の定期運用サービスの有無と、有りの場合にはその内容(電源ON/OFFや再起動等の代行、運用手順書に沿った日々の運用作業等)	必須	有り 定期レポート、機器のLEDの定期確認、テープ交換、その他運用手順書に沿った日々の運用作業等	
82	運用・保守	利用者持込み機器類の運用・保守支援サービスの有無と、有りの場合にはその内容(死活監視、障害監視、リソース監視、運用支援、バックアップ等のオペレーション等)	必須	有り 死活監視、障害監視、リソース監視、運用支援、バックアップ、セキュリティ監視等のオペレーション	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/5)

認定番号:DC 0001-1303 , サービス名称:東京第5データセンター , 事業者名称:エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
-	IaaS・PaaS(サービスの内容) <上記(25)の識別名を持つ当該データセンターと一体として提供しているIaaS・PaaSサービスで、申請の対象とする場合は記述する>				
83	サービス構成 (システム基盤サービス)	提供OS	仮想化ソフト(ハイパーバイザ)の提供の有無と、ゲストOSとして動くOS(Windows、Unix、Linux等)及びそのバージョンを記述	必須	該当なし
84		サーバ管理	サーバOS初期化、OSに関するパッチアップデート等のサービス内容	必須	該当なし
85		ASP・SaaS支援サービス	検索、認証、決済・課金、セキュリティ、位置情報、タイムスタンプ、メディア、言語変換等のサービス内容	必須	該当なし
86		管理者接続用ネットワーク提供サービス	リモートデスクトップ、SSH等の接続手段の内容	必須	該当なし
87		バックアップ・リストアサービス	バックアップサービス、障害時のリストアサービス等の内容	必須	該当なし
88		その他サービス	上記に該当しないその他サービスの内容	必須	該当なし
89	サービス構成 (開発・実行基盤サービス)	ソフトウェア開発環境支援サービス	Java、Servlet、Perl、PHP、Ruby、C/C++、その他のオープンソースの開発環境の提供等	必須	該当なし
90	サービス構成 (アプリ基盤サービス)	ドメイン等管理サービス	IPアドレス管理、ドメイン取得・管理、DNSサーバ等のサービス内容	必須	該当なし
91		メールサービス	Webメール、メーリングリスト等のサービス内容	必須	該当なし
92		Webサービス	Webサーバ、FTPサーバ、Webアカウント、アクセス制御、アクセスログ解析、アクセスログ取得、ログ、掲示板などのサービス内容	必須	該当なし
93		その他サービス	上記に該当しないその他サービスの内容	必須	該当なし
94	サービス構成 (ハード基盤サービス)	サーバ提供サービス	共用サーバ、専用サーバ等のサービス内容	必須	該当なし
95		ストレージ提供サービス	ストレージ提供サービスの内容	必須	該当なし
96		レンタル機器サービス	レンタル機器類の障害時対応サービス、定期運用サービス、運用・保守支援サービスの有無と、有りの場合にはその内容	必須	該当なし
97		統合リソース提供サービス	仮想リソース群(仮想マシン、サーバ、ストレージ、ネットワーク等)を統合して提供するサービスの内容	必須	該当なし
98		その他サービス	上記に該当しないその他サービスの内容	必須	該当なし
99	サービス構成 (ネットワーク基盤サービス)	ロードバランサーサービス	ロードバランサーサービスの内容	必須	該当なし
100		ネットワーク機器提供サービス	ルーター、スイッチ等のネットワーク機器提供サービスの内容	必須	該当なし
101		その他サービス	上記に該当しないその他サービスの内容	必須	該当なし
102	データ管理	データの所在	IaaS・PaaSサービス提供時における顧客データの保存先・所在先(国名)	必須	該当なし
103		他の使用データセンター	IaaS・PaaSサービス提供時において、一部他のデータセンターを同時に使用している場合にはその識別名	必須	該当なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。